

今月の事例

音楽教室リニューアル



長年音楽教室をされているお客様より、生徒さんの待合スペースと、自宅との区切りのための扉の設置、さらに、生徒さんが使う洗面所をきれいにしたい…とのご要望がありました。

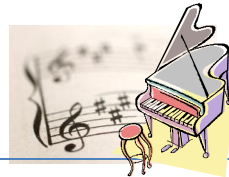
教室をしていない時は扉を開け放ち、広い空間として使いたい…とのご要望から、左右どちらでも寄せることのできるフレキシブルな間仕切り扉を設置しました。

扉本体上部はあえて空間とし、圧迫感を解消し、エアコン等の風の通りを確保。扉自体の面も明かりがさしこむすりガラスの部分と、透けない框戸との二つを組み合わせることにより、扉を閉めた時の圧迫感、平面感をなくしました。



折れ戸タイプなので、左右に開け放してしまうと、ご覧の通り、スッキリです。

before



もともとは洗濯機置き場となっていた場所を収納庫付き洗面コーナーとしました。洗面ボールの回りは水はね防止のため、白のデザイン性のあるタイルで囲みました。気兼ねなく使えてこそ!! ですね。

収納庫の扉は鏡仕様。限られた空間で、広がり感を持たせ、照明が当たり、明るさも確保できます。

before



日経アーキテクチャーより…

定期的読んでいる建築雑誌「日経アーキテクチャー」に面白い記事が載っていましたのでご紹介します。この雑誌はどちらかというと建築士、設計士向けの印象が強く、リフォーム専門業の弊社としては業界全体の動きや新商品などを参考にさせて頂いています。

メディアでも取り上げられており、ご存じの方も多いらっしゃると思いますが「平成建設」さん。大学で建築を勉強してきた若者を大工等の技能者として育て、活躍しています。

かなり(!?)熱いハートとポリシーを持った社長様で、設計者が設計やデザインばかりしていることに対して、「誰がそれを作るのか」という本質的な疑問を持っていらっしゃいます。デザインするのはいいが、誰がつくるのか、コストはどうか等々、分かって図面を描いているのか…と。設計する側と、実際に作っている現場側の気持ちが一体になっているのか?? 現場も経験がないのに、図面を描く…



ということでしょうかね～。
しごくもったもご意見、だと思います。

これはリフォームにもよくあることで、たとえば、コーディネーターやプランナーなど、現場経験はないけれど、知識は豊富で、お客様とリフォームプランの打ち合わせをします。ただ、現場を見ていない…というケースが多々ありますので、実際に現場が始まるといろいろと問題発生!!

出来上がりのイメージを伝えるのはもちろんのことですが、内装材の長所、短所、さらに住宅の場合は長く使用するのに耐えられる素材かどうか、またメンテナンスはしやすいか…??

パースやCADの図面を描くのと同時に、このようなこともしっかりとお客様にお伝えしなくてはなりません。

前述の社長様も仰られていますが、作っている側がどちらを向いて仕事をしているか…ということですね。お客様の方向を向くのが当たり前なのに、自社(あるいは自分の)作品として見ている、ということもありがちです。やはりそこ住む方が快適であることが第一で、とすれば、それはデザイン的にはイマイチだったり、見た目や写真の構成上よくなかったり(これは言語道断ですが)、することもあるかと思えます。

でも!!!
お客様が納得していることが一番!!!

なのだ!



工事が終わってから……

お掃除の項目にも触れましたが、住んでいる方の生活スタイルが見えている空間は居心地がいいものです。リフォームをしたばかりのお部屋も、しばらくしてお伺いすると、意外な使われ方をしていたり、家具や小物で「その人らしい空間」に仕上がっています。…リフォーム工事完成が“出来上がり”ではないんだな…とつくづく。工事は終わっても、その続きによって、快適な空間になるのか、あちゃ～となるのか、が決まるのではと思います。



今年初めのハーネス通信です。皆様いかがお過ごしでしょうか?
“厳しい年”ではありますが、工夫と、変化に対応する力を養える機会ととらえ、今年もリフォーム業に励みます!!
今年もよろしくお願い致します。

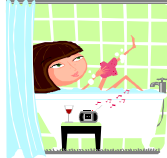
悩ましいお掃除

昨年末の大掃除はいかがでしたでしょうか…??

新しい年を迎えるにあたり、しっかりと大掃除をされた方、水廻りを重点的に攻めた方、日にちが一日進むだけでしょ…??と、普通にスルーした方…、忙しかったり、旅行に出たり…と生活スタイルは様々です。が、毎日使うお部屋、水廻りは確実に汚れてしまうものなのです。

かくいう私も掃除にあてる時間と体力は温存派…。

そんな方(私?)のために、来るべく今年12月のお掃除のために(…ものすごく先の話ですが!!)お掃除のコツをご紹介します。できれば、大掃除のように時間を取らなくても、毎日のちょっとした心がけでいつでも気持ちよく生活できればいいですね。



まずは水廻り代表、浴室。

これは基本中の基本とあげられるのが「**換気**」です。一にも二にも換気です。窓のある方はもちろん窓を開け、マンションなど、窓がない方は換気扇を回します。これは常識、ですね。

さらに、洗面器なども放っておくと赤いカビが生えてきます。できましたら、使い終わったらざっと洗って**浴室の外**に置くのが です。

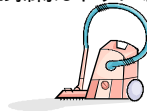
洗濯機置き場が近くにあるようでしたら、突っ張り棚などで簡易置き場を作っておくのもいいかと思います。

浴室全体は最後に使った方が冷たいシャワーをかけ、石鹸カスなどを流し、浴室全体の温度を下げます。水洗金具などはシャワーの後、水滴が残ったままにしておくと、それが乾燥した後は、うすすら輪郭のような汚れも残ってしまいます。できれば、ササッと拭いておくと、見た目もキレイですよ。

これからますます寒くなり、お風呂が恋しくなる季節。半身浴などリラックスして入りたいものです。自分自身も、浴室も「キレイ」で過ごしましょう

次はリビングなどの居室。

物が多くて、掃除する前に片づけをして、それだけで「あ～疲れた…」ということのないように、「お掃除しやすい環境」にしましょう!!!



それには**物が溢れていないことが鉄則!!**

掃除をするのに、あれをどかして、これをしまっ…なんてしているとあっという間に時間ばかり過ぎてしまいます。方法として、「しまうもの」、「飾るもの」を区別しておくのも一つです。そして、普段過ごしている空間に使いやすい収納場所を作ること。

写真のお宅は本や雑誌が多い方の収納術です。天井に近い空間を利用してカゴボックスに入れてしまっておきます。同じタイプのカゴを使ったことでオープンなのですが、ごちゃごちゃしていませんね。

弊社でもオープン棚や収納の中に可動棚を作りますが、棚があるだけでは、小物などの細かい物の収納には向きません。

写真のように統一されたカゴなら、床に置いてあってもインテリアの一つになりますね。

毎日の新聞や郵便物などをまとめて入れておくようにしてみたらいかがですか?



そして、もうひとつ、ご提案。

実はあまり片付けの行き届いたすっきりとした空間は味気ないものです。

だって販売前のオープンルームみたいですよ?!?!?

なんとなく居心地のいい空間とは、住んでいる人柄がにじみ出る物があったり、よく使うものが出してあったり、と住人の匂いがある空間、ではないでしょうか。

キッズデザイン賞・金賞受賞の浴室

キッズデザイン……「子供の安全安心、健やかな成長発達につながる生活環境の創出を目指したデザインであり、子供たちを産み育てやすいデザイン」

デザインという和外観的イメージになりがちですが、使いやすさや安全性も含め、良質な商品や施設(幼稚園など)対象はとて幅広く、個人や団体なども対象とされます。

今回このデザイン賞の金賞にクリナップのシステムバスルーム「hairo(はいろ)」が「生活安全デザイン賞」というものを頂きました。

お子様と一緒に風呂に入ったことのある方なら経験があるかと思いますが、「入浴中に子どもから目を離してしまうことがある」ケースです。

実際に入浴中に子供が浴槽でおぼれるという事故も起きているそうです。

できることなら、浴室にいる間中、子供と向かい合っていたい、目を離さないでいられたら…と、思うのは当然ですね!!

「hairo」は普段壁に向かって使うシャワーや洗面台、洗面器を浴室の中央(これは好きな場所でOK)に移動して使うことで、お子様と対面して、入浴することができるのです。

キッチンなどではすでに馴染みの対面型。キッチンで料理をしながら、お子様とその日の出来事を話したり…という対面スタイル。これを浴室にも、というコンセプトでしょうか…。

なかなか画期的なアイデアですね。

これはお子様と一緒になくても、洗面器を使いやすい位置に持ってきたり、よく使うシャワーをいちいち壁のフックから外さなくても手元に置いておくことができ、大人だって便利便利!!!

シャワーは手元にスイッチが付いていますので、いちいち壁付きの水栓に手を伸ばさなくてもいいわけです。こまめに入り切りすることで、節水にもつながってくること間違いなし!!

